

2019年度東日本・家族応援プロジェクト



団士郎 家族漫画展&漫画トーク

入場無料（申し込み不要※どなたでもご参加できます）

「物語る力・回復する力」

場所：立命館大学大阪いばらきキャンパス B棟2Fギャラリー R-AGORA

私達は皆、「思い出」と名付けた記憶の束を抱えて生きています。一人一人の固有のちいさな物語です。

そのちいさな物語が大きく損なわれたり、失われたりするものが災害です。

絶望感や孤独が人を追い詰めます。起きてしまった災害をなかつたところに戻すことはできません。

そんな人々のいる場所に、しばしの時が過ぎてからでいい、目を向けられるようになったら見てもらいたいと思い、「団士郎家族漫画展」を開催しました。

漫画に描かれている誰かのちいさな物語に触れることで、こころの中にさまざまな物語が甦り、名も知らぬ人とのつながりを感じながら、また歩み出せる力を私たちは持っているのではないのでしょうか。

2月23日のトークでは、そんなお話をいたします。お時間が合えば是非お越しください。

1/17 (金) ~ 3/11 (水)

家族漫画展

どうぞゆっくりご覧ください。



<漫画展参加者アンケートより>

- ・引き込まれました。楽しく見えました。ほかにこのような展示があれば見に行きたいと思いました。
- ・まんがだったので、わからないことは一つもなかった。とにかく絵がステキでファンタジーでした。



2/23 (日)

漫画トーク

席に限りがございますので、お早めにお越しください。



予約
不要

10:30~11:30 [受付開始10:00]

被災地で実施している漫画展を紹介し、物語がどのように、人が生き続けることを支え得るのかについて、「木陰の物語の物語」と位置づけた制作余話をお話します。

<漫画トーク参加者アンケートより>

- ・『木陰の物語』、『家族の練習問題』のファンです。今頃は先生のお話聞けてうれしかったです。正しさだけに左右されず行きたいです!!
- ・自分の核になる考え方をしっかりと持つことが大切だと深く考えさせられました。お話が聞けて良かったです。
- ・大学院を卒業して日々の仕事をしている中で大切なことを思い出させてくださるお話でした。ありがとうございました。



団士郎 (立命館大学大学院人間科学研究科客員教授・家族療法家・漫画家)

公立の児童相談機関心理職25年を経て独立。「仕事場D・A・N」主宰。漫画家でもあり、マンガ集団「ぼむ」同人、WEB雑誌「対人援助マガジン」編集長。近年は上海、台湾、ニューヨークでも漫画展を開催。著書に『家族の練習問題』1~8(ホンプロック)ほか、『不登校の解法』(文春新書)、『家族力×相談力』(文春新書)など



【主 催】立命館大学大学院人間科学研究科
【お問合せ先】立命館大学総合心理学部事務室
TEL: 072-665-2190 (月~金 9:00~17:30)
MAIL: sinri01@st.ritsume.ac.jp

